



教えて！  
幸子さん！

現場で子どもたちと向き合ってきた保育士時代、重い障害を抱える方々のケアに携わった医療の現場、そして現在はケアセンターきららの管理者として……。さまざまな立場を経験しながらも、人に寄り添うことを大切にしてきた千葉さんの、仕事への想いや大切にしている考え方をご紹介します。

## 経 歴

短大卒業後、保育園・幼稚園で保育士として勤務。前職は重症心身障害児のケアをサポートする病院で勤務していました。子育てをしながら働ける環境を探していたところ、きららホールディングスの求人を紹介して頂き、安心して子供を預けられる環境がある事と、自分のスキルアップに挑戦できる会社だと感じ入社しました。ケアセンターきらら配属後は、ショートステイでの介護現場職員として勤務し、主任・生活相談員の経験を経て現在管理者として勤務しています。

## 業 務 内 容

主に、利用者様の受け入れ判断や契約管理・利用者様やご家族様からの相談や苦情対応をしています。それ以外にも多種職との連携や医療機関・ケアマネジャーとの連携を図るのも業務のひとつです。利用者様へのサービスの質の向上はもちろんですが、そのための職員の教育・人材育成も業務だと思っています。

ケアセンターきらら 管理者  
千葉 幸子 (ちば さちこ)

## 座右の銘

## 初心忘るべからず

職種が変わっても、立場が変わっても、利用者様や職員への謙虚さを忘れず、現場から学ばせていただくこともたくさんあるので、これからもこの言葉を大切にして、より良い職場環境づくり、より良い施設づくりをしていきたいです。

### やりがいを感じる事

介護職としてのやりがいは、利用者様一人ひとりに寄り添い、その人らしい生活を支えられることだと思っています。日々の何気ない関わりの中で利用者様の笑顔をみた時や、「ありがとう」と声をかけていただいた時に、自分の仕事が誰かの生活の支えになっていると実感できて、とても嬉しくなります。

### 管理者になって変わったこと

一番大きく変わったのは責任です。今までの「一緒に働く仲間」という認識から「守るべき存在・育てる責任がある存在」と意識が変わりました。また、管理者として大切にしていることは、早期対応です。利用者様・職員間での出来事や相談等、全てに対して出来る限り早期対応することを大切にしています。その一環

### 今後の目標

利用者様にとって、安心してその人らしく暮らせる施設をつくることです。また、職員にとって長く、楽しく働ける環境づくりをしていきたいです。自分自身の目標としては「感情に振り回されず、冷静に判断できる管理者になる」ことを目標にしていきたいです。利用者様も職員も心から笑顔になれる施設をつくっていきます。



# 鬼は外! 福は内!

2月といえば節分。「鬼は外、福は内」という言葉には、悪いものを追い払い、良いものを迎え入れるという意味があります。今回の特集では、職員の皆さんに「仕事をする中で追い出したい“自分の中の鬼”」と、「今年大切にしたい“福”」について聞いてみました。一人ひとりの本音や想いが詰まった“鬼と福”。読みながら、自分自身の一年を考えるきっかけにしてみてください。

仕事の上で  
追い出したい「鬼」

自分を周り比べて焦ってしまうことです。先輩職員の仕事を見ていると、丁寧に、かつスピーディーに仕事をしている中で「自分も頑張らない」と思ってしまい焦りが出てしまいます。

その「鬼」が  
出てきたと感じる時

周囲の仕事が早いと感じた時や、複数の業務が重なった時に「もっと頑張らない」と気負い、必要以上に焦って自分のペースを見失ってしまう時です。



今年呼び込みたい「福」

利用者様にも職員にも安心感を与えられる「心のゆとり」です。忙しい毎日の中でも、声を掛け合いながら、利用者様にとって心地よい時間を大切にしていきたいと思えます。

「福」を呼び込むために  
意識すること

利用者様に安心して過ごしていただけるよう、あいさつや日々の声掛けを大切に、職員同士も安心して仕事ができるよう、自分の意思を持って行動することを意識したいです。

仕事の目標

介護の仕事始めて5年経ちましたが、まだ未熟な部分も多く、周囲に助けていただく場面があります。今後は、より頼ってもらえる職員を目指し、日々の業務に取り組んでいきたいです。業務をお願いすることをためらってしまうこともありますが、相談や依頼も大切なコミュニケーションの一つだと捉え、職員同士の関わりを深めていきたいと考えています。また、忙しい時こそ利用者様一人ひとりへの対応を丁寧に、声掛けを大切にしていきたいです。



仕事の上で  
追い出したい「鬼」

一人で抱え込んでしまう鬼。

その「鬼」が  
出てきたと感じる時

忙しいときや周りに迷惑をかけたくないときに出ます。

今年呼び込みたい「福」

早目に共有・相談し、安心して仕事ができる環境づくりの「福」。

「福」を呼び込むために  
意識すること

小さなことでも早めに声をかけ、共有することを意識したいです。



仕事の目標

日々の業務に追われる中でも、利用者様やご家族様の声に丁寧に耳を傾け、信頼関係を大切にしたいです。そのためにも、一人で抱えこまず、周囲と相談しながら質の高いサービスを提供できるよう成長していきたいと思えます。



きらら保育園  
堀 照代 (ほりてるよ)

仕事の上で  
追い出したい「鬼」

一日の過ごし方など、決まり通りにやらないと気がすまなく、その時の流れなどでうまく変えられないことや、柔軟性がないことです。

その「鬼」が  
出てきたと感じる時

臨機応変にできなくて他の先生に負担をかけてしまったり、子どもたちとのやり取りがうまくいかなかったときです。(決して完璧主義では無いのですが…)

今年呼び込みたい「福」

毎日子どもたちが笑顔で過ごせるように。また、自分の気持ちに余裕を持つこと。この二つです。

「福」を呼び込むために  
意識すること

子どもたちの気持ちになって行動することです。そして私も笑顔を心がけます！

仕事の目標

子どもたちの気づきを大切に、毎日子どもたちが楽しかった、また明日も来たいと笑顔で過ごせるような保育をしていきたいと思います。そして後輩からも頼られる存在になりたいと思います。

仕事の上で  
追い出したい「鬼」

ケアや判断はこれで正しかったのだろうかと不安になることです。

その「鬼」が  
出てきたと感じる時

自分の能力以上の仕事内容や、経験不足でどう行動するべきか自信が持てない時に感じやすいです。

今年呼び込みたい「福」

〈仕事〉訪問看護では利用者様によって訪問時間が異なり、限られた時間で健康状態や生活状況を把握しなければならないため、何かいつもと違うなと思う気づきを大切にしたいです。  
〈プライベート〉家族と過ごす時間です。

「福」を呼び込むために  
意識すること

〈仕事〉いろいろな視点から物事を見ることや、自分の価値観に置き換えないことを意識しています。  
〈プライベート〉休みの日は子どもたちと楽しいことを一つ一緒にすることです。

仕事の目標

訪問看護師として経験年数はまだ浅いですが、自分が培ってきたことを活かせるようにしたいと思っています。自分では分からないことや考えつかないことを同僚に相談し、利用者様にとって何が大切なケアなのかを日々考えたいです。訪問時は一人で対応するため、どうしても不安がつきものになります。同じ職場のスタッフに支えられ協力し合って、気持ち良く仕事ができるように頑張りたいです。



パリケア訪問看護  
大門 恵里 (だいもん えり)

豆まきで邪気を払い  
福を呼び込もう!





# 節分 イベントを 行いました!

節分の日、職員が扮した赤鬼・青鬼が、保育園やアーバンパレスやケアセンターきららの各施設を巡り、豆まきを行いました!

保育園では、子どもたちが手作りした豆入れを持って「鬼は外!」と元気いっぱい! 自分の中の悪い鬼を退治しました。



実は鬼さんたち、みんなと仲良くなりたかった様子...一緒にゲームをして遊び、最後は笑顔でハイタッチ! 怖かった鬼さんも、すっかりお友だちになりました。



各施設では、「鬼は外、福は内!」の掛け声とともに、豆やボールを投げながら大盛り上がり! 笑顔あふれる、和やかなひとときとなりました。



季節の行事を通して、たくさんの笑顔と交流が生まれた一日でした。

